

平成29年度

事業報告書

自：平成29年 4月 1日

至：平成30年 3月31日



社会福祉法人 緑風会

特別養護老人ホームしいの木の郷
デイサービスセンターしいの木の郷
居宅介護支援事業所しいの木の郷
しいの木の郷訪問介護事業所
ケアハウスしいの木の郷
特別養護老人ホーム花ノ木の郷
ショートステイ花ノ木の郷
デイサービスセンター花ノ木の郷
居宅介護支援センター花ノ木の郷

1. 拠点の概要

(1) 拠点区分：しいの木の郷

埼玉県三郷市番匠免1-314

事業名	開始年月日	事業内容	定員
	変更年月日		
特別養護老人ホーム しいの木の郷	平成11年 5月1日 平成26年11月1日	介護老人福祉施設	50名 70名
社会福祉法人緑風会 しいの木の郷	平成11年 5月1日 平成18年 4月1日	短期入所生活介護 (介護予防)短期入所生活介護	10名
デイサービスセンター しいの木の郷	平成11年 6月1日 平成29年 5月1日	通常規模型通所介護 (介護予防)地域密着型通所介護	20名 18名
居宅介護支援事業所 しいの木の郷	平成11年10月1日	居宅介護支援	
しいの木の郷訪問介護 事業所	平成12年 4月1日 平成18年 4月1日	訪問介護 (介護予防)訪問介護	

(2) 拠点区分：ケアハウス

埼玉県三郷市番匠免1-314

事業名	開始年月日	事業内容	定員
	変更年月日		
ケアハウス しいの木の郷	平成11年 7月1日 平成26年11月1日	軽費老人ホーム	50名 24名

(3) 拠点区分：花ノ木の郷

埼玉県桶川市加納1824-1

事業名	開始年月日	事業内容	定員
	変更年月日		
特別養護老人ホーム 花ノ木の郷	平成19年 5月1日	介護老人福祉施設	90名
ショートステイ 花ノ木の郷	平成19年 5月1日	(介護予防)短期入所生活介護	10名
デイサービスセンター 花ノ木の郷	平成19年 5月1日 平成29年 6月1日	(介護予防)通常規模型通所介護 (介護予防)通常規模型通所介護	20名 20名
居宅介護支援センター 花ノ木の郷	平成20年 4月1日	居宅介護支援	

2. 役員等

(1) 理事6名 幹事2名 任期：平成29年6月28日～平成31年6月

役職	氏名	備考
理事長	篠田 實	
理事	篠田 浩一	
理事	関根 隆俊	
理事	畠山 義行	
理事	萩原 良久	
理事	山田 直樹	
監事	堀切 貞司	
監事	島田 規男	

(2) 評議員9名 任期：平成29年4月1日～平成33年6月

役職	氏名	備考
評議員	齊藤 美智也	
評議員	小阪 秀史	
評議員	木津 祐教	
評議員	篠田 登喜雄	
評議員	馬場 基	
評議員	篠田 竹史	
評議員	岩田 誠	
評議員	酒井 雄二	
評議員	篠田 孝一	

3. 理事会の状況

第1回理事会

日 時： 平成29年 6月 8日 午前10時00分 ～ 10時55分

出席者： 理事6名 監事1名

審議事項： 第一号議案 平成28年度事業報告について
第二号議案 平成28年度決算報告について
第三号議案 社会福祉法人緑風会役員の報酬等の支給に関する基準の制定について
第四号議案 社会福祉法人緑風会評議員の報酬等の支給に関する基準の制定について
第五号議案 給与規程の一部改正について
第六号議案 「篠田實」氏を理事に選任することについて
第七号議案 「篠田浩一」氏を理事に選任することについて
第八号議案 「関根隆俊」氏を理事に選任することについて
第九号議案 「畠山義行」氏を理事に選任することについて
第十号議案 「萩原良久」氏を理事に選任することについて
第十一号議案 「山田直樹」氏を理事に選任することについて
第十二号議案 「堀切貞司」氏を監事に選任することについて
第十三号議案 「島田規男」氏を監事に選任することについて
第十四号議案 定時評議員会の招集について

報告事項： 1. 理事長による職務執行状況の報告
2. 理事長専決の報告

第2回理事会

日 時： 平成29年 6月28日 午前11時00分 ～ 11時10分

出席者： 理事6名

審議事項： 第一号議案 理事長の選定について

第3回理事会

日 時： 平成29年10月 4日 午前 9時55分 ～ 10時45分

出席者： 理事6名 監事1名

審議事項： 第一号議案 長期運営資金の借入れについて
第二号議案 平成29年度補正予算（案）について

報告事項： 1. 理事長による職務執行状況の報告
2. 理事長専決の報告
3. 施設長専決事項の指定について

第4回理事会

日 時： 平成29年12月27日 午後14時00分 ～ 15時00分

出席者： 理事6名 幹事1名 他2名

審議事項： 第一号議案 長期運営資金の借入れについて
第二号議案 平成29年度補正予算（案）について
第三号議案 花ノ木の郷浸水被害復旧工事の契約について
第四号議案 評議員会の招集について

報告事項： 1. 理事長による職務執行状況の報告
2. 理事長専決の報告
3. 花ノ木の郷浸水被害の状況について
4. 花ノ木の郷防犯灯設置工事について
5. しいの木の郷財産処分について

第5回理事会

日 時： 平成30年 3月12日 午前10時00分 ～ 11時40分

出席者： 理事6名 幹事1名

審議事項： 第一号議案 平成29年度補正予算（案）について
第二号議案 平成30年度事業計画について
第三号議案 平成30年度予算（案）について
第四号議案 社会福祉法人緑風会定款施行細則の一部改正について
第五号議案 評議員会の招集について

報告事項： 1. 理事長による職務執行状況の報告
2. 理事長専決の報告
3. 花ノ木の郷浸水被害の状況について

4. 評議員会の状況

第1回評議員会（定時評議員会）

日 時： 平成29年 6月28日 午前10時00分 ～ 10時45分
出席者： 評議員9名 監事1名 理事3名
審議事項： 第一号議案 平成28年度事業報告について
第二号議案 平成28年度決算報告について
第三号議案 社会福祉法人緑風会役員の報酬等の支給に関する基準の制定について
第四号議案 社会福祉法人緑風会評議員の報酬等の支給に関する基準の制定について
第五号議案 「篠田實」氏を理事に選任することについて
第六号議案 「篠田浩一」氏を理事に選任することについて
第七号議案 「関根隆俊」氏を理事に選任することについて
第八号議案 「畠山義行」氏を理事に選任することについて
第九号議案 「萩原良久」氏を理事に選任することについて
第十号議案 「山田直樹」氏を理事に選任することについて
第十一号議案 「堀切貞司」氏を監事に選任することについて
第十二号議案 「島田規男」氏を監事に選任することについて

第2回評議員会

日 時： 平成29年10月 4日 午前11時00分 ～ 11時30分
出席者： 評議員7名 監事1名 理事3名
審議事項： 第一号議案 長期運営資金の借入れについて
第二号議案 平成29年度補正予算（案）について

第3回評議員会

日 時： 平成30年 1月17日 午前10時00分 ～ 10時25分
出席者： 評議員8名 監事1名 理事2名
審議事項： 第一号議案 平成29年度補正予算（案）について

第4回評議員会

日 時： 平成30年 3月23日 午後15時00分 ～ 15時40分

出席者： 評議員8名 幹事1名 理事2名

審議事項： 第一号議案 平成29年度補正予算（案）について

第二号議案 平成30年度事業計画について

第三号議案 平成30年度予算（案）について

5. 職員の状況

平成30年 3月31日 現在

拠点名	正規職員	非正規職員	拠点計
しいの木の郷	40人	26人	66人
ケアハウス	2人	3人	5人
花ノ木の郷	53人	30人	83人
合 計	95人	61人	156人

(嘱託医は除く)

6. 事業別事業報告書

事業所名 **特別養護老人ホームしいの木の郷**

1. 収入

	平成28年度	平成29年度	前期比
介護保険請求額	206,187,848	220,148,927	106.8%
利用者負担額	34,146,930	38,299,486	112.2%
合計	240,334,778	258,448,413	107.5%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	60	62	60	62	62	60	62	58	61	31	28	31	637
要介護2	237	241	240	217	217	189	208	180	155	184	168	184	2,420
要介護3	527	558	510	527	512	455	495	493	552	504	448	553	6,134
要介護4	495	539	570	543	547	557	585	576	585	644	582	607	6,830
要介護5	676	744	720	776	703	584	682	740	750	685	684	709	8,453
小計	1,995	2,144	2,100	2,125	2,041	1,845	2,032	2,047	2,103	2,048	1,910	2,084	24,474

(延人数)

中止・外泊	103	46	15	45	120	247	135	38	57	109	50	75	1,040
-------	-----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	-----	----	----	-------

(件数)

保険請求	72	71	71	70	72	70	74	70	71	70	70	72	853
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(実人数)

新規	4	1	0	0	3	1	4	1	1	1	1	2	19
終了	2	0	1	1	3	0	5	0	2	1	0	3	18

3. 概況及び動向

平成28年度の課題であった退所者から新規入所までの期間を圧縮したことで、平成29年度の稼働率は99.85%、入院等による外泊が4.07%となった。退所から新規入所までの平均日数は1.9日となっている。

平成28年度に入所待機者追跡調査を行い、待機人数が100名を下回ったものの、平成30年5月時点で待機者は126名となっている。

4. 課題

入所待機者は依然として100名を超えているものの、他施設入所や入院等の事由により実際に入所できる方が限られている。

また、入所となった方も医療的な理由から退所となることが多く、医療的ケアが課題である。

事業所名

社会福祉法人緑風会 しいの木の郷

1. 収入

	平成28年度	平成29年度	前期比
介護保険請求額	21,549,525	23,142,436	107.4%
利用者負担額	3,311,328	3,658,392	110.5%
合計	24,860,853	26,800,828	107.8%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	5	13	18	25	0	29	25	23	25	26	27	25	241
要介護2	8	11	26	26	18	3	5	7	9	13	6	8	140
要介護3	45	43	55	79	65	80	74	110	107	130	111	116	1,015
要介護4	41	29	36	74	68	53	38	22	24	12	10	23	430
要介護5	58	29	41	30	36	36	37	47	52	34	62	61	523
小計	157	125	176	234	187	201	179	209	217	215	216	233	2,349

(延人数)

中止・外泊													0
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

(件数)

保険請求	21	16	22	24	20	23	21	20	21	19	18	20	245
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(実人数)

新規	31	31	40	34	33	40	38	40	35	31	27	35	415
終了	34	29	37	37	33	36	42	35	36	31	28	34	412

3. 概況及び動向

平成28年度の稼働率64.54%に対し、平成29年度は64.35%となった。

今年度は新規利用者が多かったものの、継続利用に結びつかず、隔月利用等による細切れの利用が多かったため、稼働率が伸び悩んでしまった。

4. 課題

居宅介護支援事業所が特定事業所となったことで、圏域の地域包括支援センターから依頼を受けた困難事例のショートステイ利用等によるニーズが増加している。

入所同様に医療的ケアの実施が問題となることが多いが、ショートステイは在宅での生活も視野に入れておかなければならないため、確実な情報提供を受けてサービスを実施していく。

事業所名

デイサービスセンターしいの木の郷

1. 収入

	平成28年度	平成29年度	前期比
介護保険請求額	21,559,830	22,304,435	103.5%
利用者負担額	2,918,377	2,793,823	95.7%
合計	24,478,207	25,098,258	102.5%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	9	9	4	5	3	4	4	4	4	4	8	17	75
要支援2	20	32	30	26	22	23	27	24	17	19	23	26	289
要介護1	77	77	76	65	74	74	70	65	61	57	56	61	813
要介護2	52	58	66	64	54	64	70	66	64	51	41	55	705
要介護3	58	57	40	45	39	56	70	75	66	52	61	57	676
要介護4	15	12	23	25	28	16	20	19	16	16	16	31	237
要介護5			4	9	6	15	16	11	8	7	8	9	93
小計	231	245	243	239	226	252	277	264	236	206	213	256	2,888

(延人数)

中止・外泊													0
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

(件数)

保険請求	35	31	34	35	33	40	41	38	35	32	32	35	421
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(実人数)

新規	1	1	2	3	2	5	1	1	0	0	2	5	23
終了	2	1	1	0	3	0	3	0	2	2	1	4	19

3. 概況及び動向

平成29年度から定員13名から18名に増やしたため、稼働率としては大幅に減少しているが単純比較できない所である。13名定員換算していくと月平均稼働率「72.3%」となり、前年比「-1.9%」となる。

保険請求は前年比を上回ったものの、利用者負担額が減少したのは支援が増加し、介護3・4が減少したものと考察される。7月より相談員を人事異動で交代し、稼働率向上の掘り起こしを行ったものの、前年比を上回った月もあるが年間利用傾向としては通年と同様の傾向を示しており、結果はマイナス稼働率となっている。

4. 課題

平成30年度の方針及び方向性としては、介護保険報酬に対応した利用者数の安定的な確保を目指し、稼働率の向上を図っていくこと。一般的には入所思考が根強い状況でもあり、同胞している施設として本入所やショートの利用を勧誘しながらデイサービスを利用開始される方もいるので、通所サービスの内容の充実を図りながら、近隣住民はもとより各事業所のケアマネ等から選ばれる通所サービスとなるよう事業の充実に努める。尚、平成30年度から介護報酬が改定されるが、時間区分は「6～7時間」とすることで単位数を上げ、報酬増を図っていくこととする。

事業所名

居宅介護支援事業所しいの木の郷

1. 収入

	平成28年度	平成29年度	前期比
介護保険請求額	11,278,195	16,651,289	147.6%
利用者負担額	1,082,407	1,598,075	147.6%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
要支援2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	46	46	43	43	40	45	42	39	38	39	41	41
要介護2	21	16	25	26	27	29	28	28	28	30	30	30
要介護3	13	12	10	11	14	17	17	22	22	17	15	17
要介護4	5	7	3	3	3	3	3	4	4	4	9	8
要介護5	7	7	7	6	7	6	9	6	6	8	9	9
小計	92	88	89	89	91	101	100	100	99	99	105	106

(実人数)

新規	10	2	2	6	2	7	6	4	3	5	8	3
終了	1	3	3	2	0	3	0	5	3	4	5	5

合計

1,159

3. 概況及び動向

- ・4月より介護報酬改正により居宅を始め各事業所の単価が変更となるため加算や単位数の変更を間違いなく入力をし利用者に確認を取る。
- ・医療と介護の連携に必要な加算を取るにあたり、加算条件を満たす書類を作成し病院や医師との連携に必要な情報を提供する。
- ・介護保険事業計画が開始されることで自治体インセンティブ導入・介護療養病棟の転換先など新しい事業が立ち上がってくるので、どのような内容の物なのかをいち早く理解し説明が出来るようにする。

4. 課題

- ・会議を繰り返し行い内部研修もすることで困難ケースやターミナルケアに対応が出来るように力をつけていく。
- ・新しい書類を使い加算をとることになるので連携シートに慣れていくこと、また理解し使いこなしていくが必要。
- ・今後は介護保険の3割負担が夏から導入されることや、医療機関には担当ケアマネの名前を提供することが義務付けられた。これからは利用者・医療・事業所・居宅がお互い顔の見える関係のネットワークと信頼のもとサービスが円滑に行える様居宅もして生きたと思う。

事業所名 **しいの木の郷訪問介護事業所**

1. 収入

	平成28年度	平成29年度	前期比
介護保険請求額	12,475,496	11,631,210	93.2%
利用者負担額	1,439,787	1,118,444	77.7%
合計	13,915,283	12,749,654	91.6%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	43	45	44	41	49	46	48	51	41	43	40	43	534
要支援2	67	79	81	76	76	65	69	68	66	63	65	72	847
要介護1	113	110	78	89	95	92	79	69	52	61	48	54	940
要介護2	24	26	44	41	47	37	39	34	37	29	35	46	439
要介護3	56	61	61	102	106	109	97	91	83	78	74	87	1,005
要介護4	33	32	24			2	5	4	4	4	4	7	119
要介護5	1				3	11	6	8	9	8	7	10	63
小計	337	353	332	349	376	362	343	325	292	286	273	319	3,947

(延回数)

保険外訪問	26	33	34	38	33	29	32	29	29	29	26	23	361
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(件数)

保険請求	42	40	39	40	43	42	40	40	39	39	41	40	485
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(実人数)

新規	2	0	2	1	3	1	1	1	0	2	1	0	14
終了	3	1	3	1	0	2	0	1	3	0	0	0	14

3. 概況及び動向

総体的に数字の減少がみられた。

訪問年数が10年以上と、関わりの長い人が多く、全体的にADLが低下してきている。今年度は、週5～6回訪問していた人達が続けて施設入所や、入院後訪問中止があったため収入に影響がでた、と考えられる。職員が1名に減ったが、サービス提供責任者1名に対し、利用者の数が40名という枠は維持していた。平成30年度の介護報酬改正に伴い、ヘルパーの時給も身体介護はプラス、生活援助はマイナスに変更された。次年度にどのように反映されるか様子を見ていく。

4. 課題

当事業所の担い手であるヘルパー10名の働き方に限りがあるため、新規利用者の希望時間に合わなければ断わざるを得ない。ヘルパーの年齢も高く、8割が60代のため、いつまで現状を維持していけるかが課題となっている。

要支援1・2の介護予防が介護保険から外れ順次、三郷市の総合事業に移行された。H30年度の、総合事業の基本報酬は「従来の単価を維持する」ことになった。総合事業は生活援助で報酬単価は低いが、当事業所の対応しやすい時間帯であるため、新規を受け入れていく方針ですすめていく。

事業所名

ケアハウスしいの木の郷

1. 収入

	平成28年度	平成29年度	前期比
措置事業収益	18,157,976	19,371,950	106.7%
運営事業収益	22,558,386	24,167,323	107.1%
合計	40,716,362	43,539,273	106.9%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月初人員	23	22	22	22	23	23	24	24	24	23	24	24	278
													0
													0
													0
													0
													0
小計	23	22	22	22	23	23	24	24	24	23	24	24	278

(延人数)

中止・外泊													0
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

(件数)

保険請求													0
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

(実人数)

新規	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
終了	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2

3. 概況及び動向

平成29年10月に満室となっている。12月に退居者が1名いたが、新規入居者が1月中に入居している。年始であったため月初の入居とはならなかったが、満室の状態を維持できている。

4. 課題

平成30年5月現在の待機者は5名となっており、電話連絡等を継続的に行い、入居ニーズの把握に努める。近隣の地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等に対しても継続的に周知していく。

1. 収入

	平成28年度	平成29年度	前期比
介護保険請求額	308,535,275	313,496,929	101.6%
利用者負担額	64,815,016	69,020,837	106.5%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	60	93	90	93	62	60	62	90	93	93	84	93
要介護2	360	310	300	310	310	270	248	210	186	186	140	155
要介護3	810	868	844	800	792	780	806	835	899	806	728	821
要介護4	990	1,006	960	1,029	1,054	1,051	1,066	990	992	960	861	961
要介護5	474	494	464	535	555	522	575	567	620	724	699	744
小計	2,694	2,771	2,658	2,767	2,773	2,683	2,757	2,692	2,790	2,769	2,512	2,774

(実人数)

新規	1	2	4	3	1	2	2	3	0	2	1	1
終了	0	3	4	2	2	2	4	0	0	3	1	0

合計 32,640

3. 概況及び動向

前年度の退所者数27名に対して今年度は21名と減少した。平均介護度は、3.5から3.6と微増。要介護4, 5の方の割合が前年度52.1%に対して今年度は57.8%と重度化している。1月から理学療法士を配置し、入居者へのリハビリに取り組んでおり、入所案内のPR材料となっている。

4. 課題

市内に特養1か所が開設し、隣接する久喜市に1か所、上尾市に2カ所開設した。入居者の獲得競争が激化している。他施設と比較して、魅力や特色(設備、人員配置、リハビリ、レク活動)を検討すべき課題と捉えている。既存職員の流出を防ぐ為、研修や福利厚生の実、風通しの良い職場環境を作る努力は欠かせない。上記を満たすためには稼働率の維持、向上を図っていく必要がある。

事業所名

ショートステイ 花ノ木の郷

1. 収入

	平成28年度	平成29年度	前期比
介護保険請求額	23,514,261	30,096,642	128.0%
利用者負担額	5,254,911	6,482,410	123.4%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	2	0	2	5	0	0	10	0	0
要介護1	13	16	17	36	23	18	11	28	32	15	15	10
要介護2	21	31	23	50	74	29	7	16	12	27	16	35
要介護3	59	41	38	59	75	92	138	124	149	173	180	199
要介護4	60	35	32	30	25	56	37	39	83	48	36	33
要介護5	81	86	91	92	40	48	76	37	35	36	35	32
小計	234	209	201	269	238	246	274	244	311	309	282	309

(実人数)

新規	2	4	1	5	5	6	0	2	5	4	4	4
終了	2	1	0	2	3	3	0	0	1	2	2	1

合計

3,126

3. 概況及び動向

ロングショートの要望が多く、現在5床がロングショートとなり安定的な稼働となっている。
 6月よりショートユニットのリーダーが代わったことで、緊急での受け入れや、介護負担が大きい方の受け入れに対し意欲があり、利用につなげられるケースが増えてきている。
 7月頃より新規の利用者が増加してきているが、入居や状態変化等で終了となるケース、デイとショートを併用している方が状態変化からショートの利用を増やしていくケースが増えてきている。
 また、近隣の特養が1月よりショートを閉鎖したこともあり、12月より新規での問い合わせが増加している。

4. 課題

近隣の特養がショートを閉鎖したことで需要が増えているが、再開と共に分散していく可能性があり受け身にならず継続した利用につなげられるよう、ケアの質の向上、満足度アップを図る必要がある。また、現状では受入れができていない医療度の高い方、認知症の症状が強い方に対し、どこまで対応できるのか現場を中心に検討し、対応できる幅を広げていくことが求められている。ショートとしての役割を理解・周知することでご家族のため、地域のために貢献できる事業所として成長していくことが、選ばれる事業所となるための課題である。

事業所名

デイサービスセンター花ノ木の郷

1. 収入

	平成28年度	平成29年度	前期比
介護保険請求額	16,196,456	15,331,594	94.7%
利用者負担額	1,991,081	2,052,870	103.1%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	0	0	0	0	4	6	3	5	2	3	3	4
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8
要支援2	8	3	0	0	9	8	9	9	8	8	8	9
要介護1	46	58	57	52	34	39	42	43	49	41	49	57
要介護2	23	25	24	39	40	47	40	53	42	37	45	57
要介護3	63	37	36	39	38	36	38	40	65	48	40	46
要介護4	0	0	12	27	30	20	31	23	16	16	20	21
要介護5	0	0	0	0	0	13	16	0	0	0	0	3
小計	140	123	129	157	155	169	179	173	182	153	169	205

(実人数)

新規	1	0	17	4	2	1	4	0	5	2	3	2
終了	0	19	1	1	4	2	0	0	2	0	1	0

合計

1,934

3. 概況及び動向

6月から広域型デイサービスに移行し、受け入れ地域が広がったことで減少傾向であった利用人数が少しずつではあるが増加しつつあるが、広域型への移行に伴い定員数を13名から20名へと増員したために稼働は下がっている。また、今年度から総合事業対象者の受け入れを開始したこともあり、利用人数は増加しているが介護保険請求額は減少している。

5月より生活相談員が1名入職、非常勤介護職員が1名12月で退職、8月より非常勤職員が1名入職し3月に常勤職員へと雇用形態を変更となる。

4. 課題

広域型への移行に伴い、他市事業所からの紹介が増えている。紹介を断ることなく受け入れにつなげていけるよう今後も継続して営業活動を行っていく。平均利用者数は増えてきているが、平成30年4月の法改正に伴い単位数が減少しているため、新規利用者の獲得、新たな加算の算定を行っていくことが課題となる。生活相談員2名が認知症実践者研修終了しているため、認知症加算の算定、より重度の方の受け入れに柔軟に対応していかなければならない。

また、機能訓練・余暇の充実、職員の育成を行い選ばれる事業所となることが求められる。

事業所名

居宅介護支援センター花ノ木の郷

1. 収入

	平成28年度	平成29年度	前期比
介護保険請求額	6,407,098	7,690,299	120.0%
利用者負担額	0	0	

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	1	1	1	1	2	5	5	5	5	6	9
要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
要介護1	27	27	26	24	22	22	21	20	21	25	23	24
要介護2	13	13	14	13	13	15	17	17	18	26	26	24
要介護3	16	16	15	14	14	15	14	14	14	13	10	11
要介護4	2	2	2	3	3	4	4	7	6	5	6	6
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3
小計	61	61	60	57	55	60	63	65	66	76	74	79

(実人数)

新規	5	4	1	0	0	9	17	3	6	14	3	5
終了	4	4	2	3	2	4	14	1	5	4	5	0

合計

777

3. 概況及び動向

H29年9月にパート職員が退職し10月より正社員2名体制となる。新たな職員はケアマネジャーの経験が無くこれから介護支援専門員業務を覚えていく為、退職したパート職員の件数を先ずは熟して行き、おる程度慣れてきた状態で少しずつ管理者より安定している利用者件数を約10名程度引き継ぎ残りは新規を徐々に受け入れて行った。全体的な件数は着実に数字を増やしている。紹介先は包括支援センターが多いので、要支援や総合事業対象者も増えている。今後も行政や包括支援センターと連携強化して安定した件数を維持する

4. 課題

手間の多いクライアントが増えていて、一件あたりに対する時間を要するようになっている。また、多職種連携や行政や地域に貢献を求められる時代なので、そのような事にも事業所として協力していかなければならない毎月35件をこなしていれば良い等と考える時代ではない。地域ケア会議等にも積極的に参加しないような事業所では市町村が管轄されたこれからの時代は地域から見放される時代になると考える